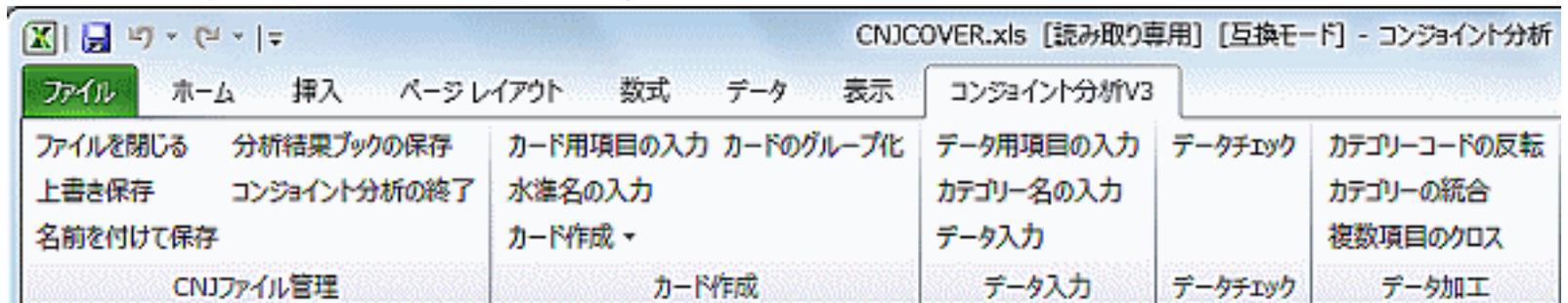


### 1. コンジョイント分析とは

コンジョイント分析とは、「コンジョイントカード」と呼ばれる商品完成予想図を回答者に複数提示し、得られた評価から、回答者が重視している特性を明らかにする手法です。

### 2. 機能

メニューは、以下のような構成です。



(★折り返し表示しています)

「コンジョイントカードの作成→データの入力→入力したデータのチェック→分析」という、分析者の思考の順序にあわせたものになっています。

### 3. ソフトの流れ

#### (1) カード用項目の入力

カード作成のための項目名と水準数を入力します。

## カード用項目の入力

現在登録数 3

→ 取消 保存 閉じる

順序性  
1=あり, 2=なし

行 No.	項目 No.	項目名	水準数	順序性
1	1	ブランド	3	2
2	2	味わい	3	2
3	3	アルコール度	3	2
4				

### (2) カード作成

コンジョイントカード（この例ではL9）を作成します。

## カード作成（項目情報を選択して作成）

項目情報 (No.・水準数・順序性・項目名)

( 1)[ 3][2]ブランド  
( 2)[ 3][2]味わい  
( 3)[ 3][2]アルコール度

No. ▼ 全て選択 決定

L9(3<sup>4</sup>)

作成 カード表示 印刷 閉じる

直交・非直交表のエラーチェック

項目No.	1	2	3	
水準数	3	3	3	3
1	1	1	1	1
2	1	0	0	0
3	1	-1	-1	-1
4	0	1	0	-1
5	0	0	-1	1
6	0	-1	1	0
7	-1	1	-1	0
8	-1	0	1	-1
9	-1	-1	0	1

Microsoft Excel

カード枚数は9枚です。  
直交・非直交表を表示しますか？

はい(Y)

いいえ(N)

### (3) データ用項目の入力

カードの評価方法（この例では9枚の順位をつける）を設定します。

# データ用項目の入力

現在登録数 11

→ 取消 保存 閉じる

データ形態  
1=SA, 2=MA  
3=数量, 4=文字

カードの評価方法

<単一評価>

- 順位  位  位
- 評価得点  点  点 (下限0、上限1000)
- 段階評価  段階 (2から7)
- 無制限複数選択
- 制限つき複数選択 選択枚  枚まで

<一対評価>

- 段階評価  段階 (2から7)

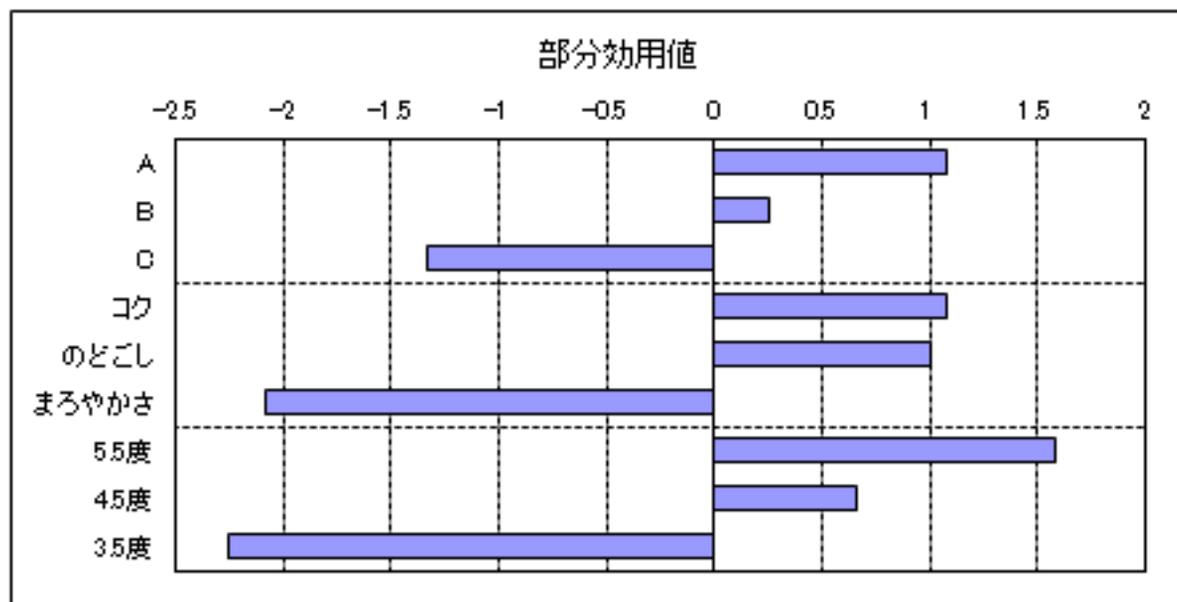
行 No.	項目 No.	項目名	データ形態	評価点種類	カテゴリ数
1	1	カード1	3	順位	
2	2	カード2	3	順位	
3	3	カード3	3	順位	
4	4	カード4	3	順位	
5	5	カード5	3	順位	
6	6	カード6	3	順位	
7	7	カード7	3	順位	
8	8	カード8	3	順位	
9	9	カード9	3	順位	
10	10	性別	1		2
11	11	年齢	1		2
12					

決定

## (4) 解析(コンジョイント分析)

回答者のデータを入力して実行すると、解析結果がExcelのシートに出力されます。

62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92



### 重要度

項目名	最大値	最小値	レンジ	重要度	単相関係数
アルコール度	1.58	-2.25	3.83	40.7%	0.674
味わい	1.08	-2.08	3.17	33.6%	0.607
ブランド	1.08	-1.33	2.42	25.7%	0.413
計			9.42	100.0%	

### 分析精度

決定係数	0.993
自由度修正済	0.972
単相関係数	0.996
ケンドールのK	1.000